

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

今年も一年、誠にありがとうございました。

2016年～2017年の 主な取組

2016年

- 4月 ・JR東日本旅客鉄道株式会社
 e-pile next 鋼管杭工法
 支持性能評価申請
- 5月 ・e-pile next 鋼管杭工法
 製品製造加工/ロボット溶接機械の導入
- 10月 ・e-pile next 鋼管杭工法
 国土交通省「NETIS」登録
- 11月 ・e-pJ 鋼管杭「無溶接継ぎ手」
 性能実施試験完了
- 12月 ・日本車輛製造DHJ-25sp (ハイパワー機種) 導入
 ・業務拡張により相模原機材センター移転
 新・機材センター開設 (約1,800㎡)
 相模原市緑区町屋1-4-37

2017年

- ・e-pJ 鋼管杭「無溶接継ぎ手」評定取得
- ・e-pilenext 鋼管杭工法
 杭頭○○○○○○技術開発
- ・自立式擁壁YOSAKU工法
 性能試験実施
- ・e-pile next 工法

Tobu. 2016年 広がる活躍のステージ

兵庫県神戸市

福島県会津若松市

島根県松江市

埼玉県八潮市

神奈川県相模原市

東京都新宿区

東
 部
 新
 聞



※ 年末年始の休業期間は2016年12月29日(木)～2017年1月4日(水)まで。年始明けは2017年1月5日(木)10時より通常営業とさせていただきます。



Tobu. 株式会社 東 部
<http://e-pile.com>

■ 本社
 〒252-0134
 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■ 本店/ 経 理 室
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
 TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所
 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2
 朝日生命幡ヶ谷ビル 6階
 TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124

■ 相模原機材センター
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1285-1
 TEL.042-785-2812 FAX.042-785-2813



12月は、「年末年始無災害運動」強化月間となっています。<年末年始無災害運動>

本運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取組促進を図る趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動です。

○趣旨

職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者双方が改めて安全衛生意識、危険感受性を高め、経営トップの強い決意のもとで安全衛生活動の総点検を行い、安全衛生管理体制の見直し、安全衛生教育の徹底を図ることが必要です。
 とりわけ、年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・始動等の作業が多くなるほか、積雪や凍結による転倒等の危険が増すことから、各事業場、職場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非正常作業における安全確認の徹底、転倒等への注意、労働者の健康状態の確認などに努めることが普段にも増して重要となります。

このような状況を踏まえ、本年度の「年末年始無災害運動」は、『無事故で締めよう 行く年を 無事故に誓おう 来る年に』を標語としています。

●事業場の実施事項（一部抜粋）

- リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの積極的な導入・定着
- メンタルヘルス対策・過重労働対策の推進
- 機械設備に係る定期自主検査及び作業前点検の実施
- 安全衛生パトロールの実施 など

●実施期間

平成 28 年 12 月 15 日～平成 29 年 1 月 15 日

※詳しくは、中央労働災害防止協会のHPをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム

12月に向けて本格的な流行に?

ノロウイルス

感染性胃腸炎(ノロウイルス感染症等)の報告数は、2016年第41週(10/10～10/16)以降4週連続で増加しています。

今後、12月に向けて本格的な流行になるものと予想されるので注意しましょう。今回は、感染性胃腸炎の中のノロウイルスについてご紹介いたします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染してヒトの腸で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。

健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの対症療法に限られます。

感染経路

- ・感染者の吐物からの二次感染
- ・飛沫感染
- ・汚染された二枚貝を十分に加熱調理しないで食べた場合



症状

主な症状は吐き気・嘔吐・下痢で、高熱になることは多くありません。

潜伏期間は1～2日と比較的短く症状の持続する期間も数時間～数日間と短期間です。

予防

食事の前やトイレの後は必ず手を洗いましょう。

下痢や嘔吐などの症状がある方は、直接食品を扱わないようにしましょう。

ノロウイルスになったら

・吐き気や下痢を我慢しない

ウイルスを体外に出すことで、症状が落ち着くといわれています。おう吐や下痢の症状が激しくても、下痢止めはなるべく使用しないようにしましょう。

・水分、食べ物の摂り方に注意

のどが乾いていたり、お腹が空いていたりしていきなり胃の中に水分や食べ物が入ると、胃に負担がかかり下痢や嘔吐を誘発してしまうことがあり、水分や食べ物を一気に摂らない方が良いと言われています。

・正しい食事の摂り方

油っぽいものや、冷たいもの、辛いもの、果物(クエン酸を含む、グレープフルーツ、いちごなど)は、弱った胃への負担となり、嘔吐を引き起こすことがあります。

経理マンが行く

無礼講の意味

先日は54年ぶりに11月に初雪が降りましたが、それ程交通機関も乱れず良かったですね。これも温暖化の影響だそうなので今後も気候に注意が必要になりそうです。さて、いよいよ**忘年会シーズン**となりました。あちらこちらからお誘いも多くなる頃です。それにしても忘年会とは、どの国にもあるのでしょうか?実は**日本だけの行事**だそうで他国はそのような催しはないそうです。では、いつ頃から忘年会が行われたのでしょうか。日本初の忘年会は**鎌倉時代**、年末に行われた『**年忘れ**』と呼ばれる会が起源です。しかし、この会は歌を読むのが目的で、現在行われているような忘年会には程遠いものだったようです。現在の形に近くなったのは**江戸時代**になってからで、一般庶民が一年間の憂さを晴らすために親しい者と年末に酒を酌み交わすようになったのが始まりと言われています。一方、**武士**は『新年会』は開きましたが『忘年会』は開かず、これで町民との身分の違いを見せたといえます。今のような飲み会型の『忘年会』が年中行事化したのは**明治時代**で、故郷に帰らず、東京に残った学生と官僚が始めたのが行事化したそうです。学生は年の初めに故郷に帰るので年始は集まりにくく、官僚の方は**ボーナス**が出て懐が温まっているところに御用納めになるので、それならいっそついでに飲もうかというのが**忘年会の初め**となりました。

会社などの忘年会では様々な方がお見えになるので気を遣いますが、その際『**無礼講**でいこう』などと言いますね。現代ではその意味を、身分・地位の上下を抜きにして、楽しもうということに使っています。念のため辞書を引くと、『**貴賤・上下の差別無く礼儀を捨てて催す酒宴**』とあり上下関係を忘れて飲むことの意味では今の通りの使い方と間違いありません。『**無礼講**』は後醍醐天皇が鎌倉幕府(北条氏)を倒す意思を探るために催した遊宴に由来するようです。その席では内容が外に漏れない様身分関係を抜きにしてハメをはずした酒宴でしたがもちろんこれは**世をあざむく**為の宴にかこつけた協議の場でした。毎日続く常識や礼儀を欠いた酒宴の様子に驚いた人々がそれを『**無礼講**』と呼んだと言われます。では何故無礼なのでしょう。

平安時代の公家社会の宴席(現代の公式の宴席でも同様)では**席順が偉い順**に決まっていた。公家は一度その座に坐ると、決して他の座席に移ることはしません。ところが、そう言ったしきたりを無視して後醍醐天皇たちは席を立ち酌をしたので**無礼講**と言うようになったと言うことです。ですから今もよく言われるこの『**無礼講**』の元々の意味は、『**本来座席を立てはならない参加者が席を立ち、酌をすること**』を言いました。

会社の宴会とか接待などに見られる、あの挨拶代わりのお酌です。許しも得ずに上の座席ににじり寄るわけですから、これは**無礼**以外の何物でもなく、だからこそ『**無礼講**』と呼ばれるわけです。ですから飲んで羽目をはずし上司にタメ口を聞いたり会社の悪口を言ったりしても許されると言う意味じゃありません。もともと『**無礼講**』は、偉い人が、『**家来の本心を探るため**』に考案出した『**智略**』だといわれています。『**無礼講**』で失礼にあたる事をすれば上司に『**あんな人だったのか**』なんて思われるだけで何の得にもなりません。無礼講でも、自分の立場をわきまえ、ある程度の理性を持って行動することが大切です。

ですが、席を立てて上司や先輩にお世話になりましたとか、よろしくご指導くださいと酒をついで廻るのは本来の**無礼講**の意味ですから大いにやってくださいね。